

【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2026年 7 月14日
【会社名】	アスクル株式会社
【英訳名】	ASKUL Corporation
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長　ＣＥＯ　吉岡　晃
【本店の所在の場所】	東京都江東区豊洲三丁目 2 番 3 号
【電話番号】	03 (4330) 5130
【事務連絡者氏名】	取締役　ＣＦＯ　玉井　継尋
【最寄りの連絡場所】	東京都江東区豊洲三丁目 2 番 3 号
【電話番号】	03 (4330) 5130
【事務連絡者氏名】	取締役　ＣＦＯ　玉井　継尋
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町 2 番 1 号)

1【提出理由】

当社及び当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象が発生いたしましたので、金融商品取引法第24条の5第4項ならびに企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第12号および第19号の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

(1) 当該事象の発生日

2026年7月3日

(2) 当該事象の内容

当社が2023年2月に取得した、フィード株式会社および関連会社を傘下に持つ株式会社 AP67について、円安の進行に伴う仕入原価の上昇に加え、それによりお客様基盤の拡大が鈍化したこと、また法人格の違いによりシナジー創出に想定以上の時間を要している状況を踏まえ、成長計画の見直しを実施いたしました。

その結果、将来の回収可能性について慎重に検討し、連結決算においては、のれんおよび顧客関連資産の減損損失を計上しております。

また、本減損損失に伴い、個別決算においては、関係会社株式評価損を計上しております。

(3) 当該事象の損益および連結損益に与える影響額

当該事象の発生により、2026年5月期の連結決算において、のれんおよび顧客関連資産の減損損失4,823百万円を特別損失として計上しております。

また、2026年5月期の個別決算において関係会社株式評価損 4,825百万円を特別損失として計上しております。なお、当該関係会社株式評価損は、連結決算においては消去されるため、連結決算への影響はございません。